



遠藤 俊寛

# 義務教育の保護者負担の軽減を

## 負担なしにする事は考えていない

遠藤 活気ある、希望の持てる伯耆町の将来を築くためには、子どもを産み育てやすい環境づくりが大事である。

遠距離通学補助をさらに拡充して保護者負担をなしにできないか。又、補助教材費に対して助成はできないか。

教育長 通学費の補助については、合併協議会で調整した結果、小学校については2km以上の児童を補助の対象とし、保護者負担額は月額七五〇円とし残りは申請に基づいて全額町が補助する。中学校については4km以上の生徒を補助の対象とし、保護者負担額は月額二千円とし、残りは申請に基づいて全額町が補助することとした。このほかに冬季間特例・低学年特例もあり、旧溝口町の制度



登校風景（日光小学校前）

と比較した場合、保護者負担を相当軽減したと考えており、現在のところ保護者負担をなしにする事は考えていない。補助教材は、児童生徒個人の使用に供する教材

と比べて、保護者負担を軽減したと考えており、現在のところ保護者負担をなしにする事は考えていない。補助教材は、児童生徒個人の使用に供する教材

### 児童生徒の安全対策は

遠藤 二〇〇一年に大阪池田小学校で起きた惨劇をきっかけに、学校や通学路の安全対策が実施されてきましたが、子どもたちを狙った卑劣かつ残忍な犯罪が後を絶たない現状である。伯耆町の児童生徒に対する安全対策について伺う。

教育長 現在岸本中学校女子生徒と八郷小学校全児童に防犯ブザーを貸与している。その他の学校については、各学校の児童生徒の登下校等の状況を調査して鋭意検討して参りたい。

不審者の侵入に対しては、各学校それぞれの実態に即した「危機管理マニュアル」を作成し対応

できるように安全管理の徹底に努めている。町内の各小中学校は、敷地を塀で囲んでおらず、防犯カメラを設置しても不審者をキャッチすることは、事実上不可能に近い状況であるので、各学校は、防犯カメラを設置するのではなく、不審者の侵入を防ぐために、来訪者の誘導看板の設置等に対応している状況である。今後可能な限り、各学校に一層の安全管理の徹底を求めて参りたい。